

球磨支援通信



熊本県立球磨支援学校
令和5年(2023年)12月 第3号

熊本県内の特別支援学校

熊本県内には令和5年現在24校の特別支援学校があります。それぞれの学校は、対象とする障がい種(視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱)が決まっています。

(参照:熊本県教育委員会HP 県立特別支援学校一覧・学校ホームページ)

特別支援学校高等部への進学

特別支援学校高等部の進学を希望する場合は、必ず教育相談をうけます。授業の様子を実際に見たり、学校生活について説明を受けたりして実際の学校生活を知った上で進路選択をしていただくためです。入学後「思っていたのとは違った」「自分はここに来るはずではなかった」ということにならないためにも、本人の気持ちを十分に聞き取りながら進路決定をしていただきたいと思います。また、ひのくに高等支援学校、鏡わかあゆ高等支援学校専門学科は他の支援学校より入試日程が早くなりますのでご注意ください。

知的障がいを対象とする特別支援学校高等部卒業後の進路

高等部卒業後の進路としては、一般就労や福祉就労(就労移行支援、就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型等)、障がい福祉サービス利用(生活介護等)、高等技術専門校進学などがあります。高等部卒業後は大半の生徒が、形態は多様ですが「はたらく」生活を送るということをぜひ念頭に置いていただければと思います。

また、知的障がいを対象とする特別支援学校の場合、高等学校とは異なるため、高等学校卒業(高卒)ではなく、あくまで特別支援学校高等部卒業の取扱いとなります。就労ではなく大学等の上級学校進学を希望する場合、学校によっては受験資格がない場合もありますので、その点も本人を含めてよく検討の上、進路選択をしていただければと思います。

〈エピソード〉

以前担任していた生徒との会話です。



この生徒は、なりたい職業は挙げるけれど、将来自分が「働く」・「仕事をする」ということがうまくイメージできなかつたようです。このとき、自身の進路指導を猛省しました。児童生徒の実態に合わせて、本人たちが次の段階の進学先や自分の「はたらく」生活をイメージできるように、進路指導をしていきましょう。

子供が発達検査を受けた後の対応

子供の状況や必要に応じて、新版K式やWISCなどの発達検査を医療機関や療育機関等で受ける機会があるかもしれません。

専門機関で発達検査を受けた場合は、結果の数値だけではなくそこから見える子供の得意・不得意、有効な支援例などが書かれた結果の解説のようなものも一緒に渡されることが多いです。保護者の了承が得られれば、ぜひその解説に当たる部分を読ませてもらい、数値だけでなくその子供がどのような認知特性があり、どのような支援が効果的なのか等を、担任やその子供と関わる大人で共有していただきたいと思います。検査を受けて終わりではなく、検査結果を子供の支援につなげていきましょう。

応用行動分析（ABA）を用いた子供の行動の捉え方

ABAでは、行動を

前 「行動の先行事象 (Antecedent)」

行動のきっかけとなる出来事や状況

行動そのもの 「行動 (Behavior)」

後 「行動の結果事象 (Consequence)」

その行動をしたことでどうなったのか。何を得たか。結果。



以上の3つに分けて考えます。ABC の3つに分けて整理すると、子供の行動に対する理解が深まります。

問題となる行動に対するアプローチとしては、その行動が起こりやすい状況をABCの視点で調べて整理をします。併せてその行動が起こりにくい状況についても整理をします。

行動の先行事象に関する情報

例：時間帯、場所、一緒にいる人、活動内容、特定の関わり方や言葉掛け、周囲からの注目具合など

行動に関する情報

例：具体的な行動、行動の頻度、行動の継続時間、行動の周囲への影響など

行動の結果事象に関する情報（大きく4つ）

欲しいものやしたい活動を得る：**要求** 嫌なことから逃れる：**逃避**

注目を得る：**注目**

特定の感覚的な刺激を得るまたは遮断する：**感覚刺激**

行動のきっかけ・行動そのもの・行動後（結果・対応）の三点を記録していくことで、なぜその子供がその行動をとるのが見えやすくなります。行動の理由や目的が分かれば対処方法も変わりますので子供の行動を捉える方法の一つとしてご活用ください。

県立高等学校における「通級による指導」

○通級による指導とは？（県立高等学校では2018年度開始）

通常の学級に在籍する障がいのある児童生徒が、大部分の授業を通常の学級で受けながら、障がいに応じた特別な指導を特別な場（通級指導教室）で受ける指導形態のこと。

※「通級による指導」は、障がいの状態に応じて各教科の内容を取り扱うことができるようになっていますが、単なる教科の遅れを取り戻すための指導は行いません。

○対象生徒

原則として、自閉症、情緒障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいのある生徒が対象です。

（本人・保護者の意向を踏まえ、実施校の校内委員会の検討をもとに校長が決定します）

○令和5年度の実施校（8校）

湧心館高等学校（全日制）、松橋高等学校、菊池農業高等学校
岱志高等学校（全日制）、天草拓新高等学校本渡校舎
翔陽高等学校、阿蘇中高等学校阿蘇清峰校舎
八代農業高等学校



【参考資料】

・3ステップで行動問題を解決するハンドブック 小・中学校で役立つ応用行動分析学 大久保賢一著 学研プラス（2019年5月）

〈お問い合わせ先〉

熊本県立球磨支援学校

教頭：井村

特別支援教育コーディネーター：柴田

TEL：0966-42-3792

FAX：0966-42-6938

E-mail:kuma-s@pref.kumamoto.lg.jp

HP アドレス：<http://sh.higo.ed.jp/kuma-s/>



↑
球磨支援学校のHP
QRコード